

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年 1月22日

協議会名: 茂原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鐵道株式会社	市民バス「モバス」 南部(鶴枝)コース 系統: 茂原駅～三ヶ谷神社～茂原駅(20.9km) 運行回数: 5便/日 南部(五郷)コース 系統: 茂原駅～石神集会所～茂原駅(12.1km) 運行回数: 4便/日 運賃: 200円(障害者手帳所持者、その介助者、運転経歴証明書所持者、小学生は100円)	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き利用促進の取り組みを進めていただきたいと評価結果を受け、「茂原市交通マップ」を市内の各公共施設や鉄道駅等に配布するとともに、商業施設にご協力いただき、入口付近に配置することで、さらなる周知を図った。また、広報「もばら」に市民バス「モバス」の利用方法等に関する記事を掲載し周知を図った。 ・利用促進のため、市民バス「モバス」の乗降者数等の分析をし、状況把握に努めた。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 目標: 利用者数100人/日以上 実績: 71.0人/日 分析: 前事業年度より増加したものの、目標値には程遠く、利用者を増やすため利用者ニーズの把握に努めたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・各コースの利用状況を把握し、現コースの変更や新規コースの創設について検討する。 ・運賃収入以外の収入源の確保のため、引き続き市民バスの車体等に、有料広告を募集し掲載を行う。 ・市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券の周知に努め、公共交通の利用促進を図る。 ・転入者に交通マップの配布を行い、公共交通の周知を図る。
都自動車株式会社	デマンド交通「ふれあい」 運行区域: 市内北西エリア 運行日: 月・水・金曜(祝休日・年末年始運休) 運行本数: 8便/日(8時、9時、10時、11時、13時、14時、15時、16時) 運賃: 400円(障害者手帳所持者、その介助者、運転経歴証明書所持者、小学生は200円)	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き利用促進の取り組みを進めていただきたいと評価結果を受け、「茂原市交通マップ」を市内の各公共施設や鉄道駅等に配布するとともに、商業施設にご協力いただき、入口付近に配置することで、さらなる周知を図った。また、広報「もばら」にデマンド交通「ふれあい」の利用方法等に関する記事を掲載し周知を図った。 ・利用促進のため、デマンド交通「ふれあい」利用者の地区別割合や行き先等の分析をし、状況把握に努めた。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標: 利用登録者数750人以上 実績: 868人 分析: 周知が行き届き、順調に伸びている。 目標: 利用者数10人/日以上 実績: 13.2人/日 分析: 新型コロナウイルスの影響をあまり受けておらず、通院、買い物等の移動手段として利用されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用需要の高い高齢者を中心とした利用促進策を講じて、利用者の拡大に努める。 ・さらなる利用促進を図るため、エリア拡大について検討する。 ・市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券の周知に努め、公共交通の利用促進を図る。 ・転入者に交通マップの配布を行い、公共交通の周知を図る。 ・既に目標を達成しているため、次期交通計画において新たな目標を設定し、さらなる登録者・利用者の増加を図る。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	交通マップの配布や、広報への記事掲載などに取り組み、デマンド交通においては、利用者数の目標を達成されたことを評価する。一方で市民バスは目標が未達成となった。引き続き、各コースの利用状況を把握し、需要の動向を見極め、利用促進の取り組みを進めていただきたい。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)をま、今後の検討の参考としていただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。 				

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月29日

協議会名: いすみ市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鐵道株 いすみ循環-1	市役所大原庁舎～長者町駅～ いすみ医療センター～市役所 大原庁舎	小中学生の利用料の無料化や市内に住民票を置く高校生及び障害者等の利用料免除など利用料金の改定を実施した。また、路線の一部延伸等を行い高校生等の利用促進を図った。徐々にコロナ禍前の状態に戻りつつあり、住民等が市内循環バスを利用する機会が増えている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した	利用実態を注視し、運行時刻や路線の見直し、路線の再編等検討していく。また、今後も広報やHP等を活用し利用促進に向けた継続的な啓発等を実施する。
小湊鐵道株 いすみ-2	市役所大原庁舎～長者町駅～ 房信夷隅町支店前		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標:30,000人 実績:32,688人	
小湊鐵道株 いすみ-3	市役所夷隅庁舎～下布施～市 役所大原庁舎		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 分析:住民等の外出の機会が増えており、コロナ禍前の利用状況に戻りつつある。利用料金の改定や路線の一部延伸等により利便性を図ったことによる効果も要因であると考えられる。	
小湊鐵道株 いすみ-4	長者町駅～市役所夷隅庁舎～ 市役所大原庁舎		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A	

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	<p>小中学生の無料化や高校生等の利用料免除・一部延伸等を行い利用促進を図った取り組みにより、目標を達成したことを評価する。</p> <p>住民の利用機会も増加しており、引き続き利便性向上や利用促進に向けた取組を期待したい。</p> <p>第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。
---------------------------------	--

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 旭市地域公共交通会議
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
千葉交通株式会社 干潟ルート(CC-4-1)	ひかた市民センター～東6区集会所～東1区集会所～旭中央病院	これまで、交通空白地域解消を目的とした一部ルート延伸や、JRIにあわせた運行ダイヤ改正、安全を考慮した運行ルートの変更など、各種の見直しを行い、運行を維持してきた。これらにより、移動の円滑化も図られ、計画実施による効果が見られている。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 目標 利用者数 7人/平日1便 3.5人/休日1便 実績 利用者数2.6人/平日1便 1.7人/休日1便 新型コロナウイルスの影響や少子高齢化による人口減少により、利用者が減少している。	引き続き運賃収入以外の収入源の確保のため、コミュニティバスの車体に有料広告を募集し掲載を行う。 引き続き総合公共交通マップを発行し、市内各戸配布等を行い、運行内容の周知を行い利用者の回復を図る。 地域公共交通計画に基づいた改善等を行っていく。
千葉交通株式会社 干潟ルート(CC-4-2)	干潟駅～湯木坂上～東1区集会所～旭中央病院	運賃収入以外の収入源の確保のため、コミュニティバスの車体に有料広告の掲載を行っている。			
千葉交通株式会社 干潟ルート(CC-4-3)	干潟駅～湯木坂上～ひかた市民センター	引き続き総合公共交通マップを発行し、市内各戸、各公共施設に配布、市HPで周知を行った。			
千葉交通株式会社 干潟ルート(CC-4-4)	ひかた市民センター～湯木坂上～干潟駅				
有限会社丸運タクシー 旭市デマンド交通	旭南地区	令和5年3月に策定した地域公共交通計画に基づき、利便性向上策として、エリア跨ぎ運行の検討を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 目標 収支率 18.7% 実績 収支率 13.9% (旭南 14.5%) (干潟・旭北 12.5%) (海上・飯岡 14.6%) 新型コロナウイルスの影響等により目標を達成できていないが、利用登録者数は順調に増えており、収支率も徐々に上昇している。	利用登録者の増加に向けて、引き続き総合公共交通マップを発行し、市内各戸配布等を行い周知を行う。また、市役所関係部署で連携し、利用者となる高齢者団体等に周知を行っていく。 定期的に乗降対象施設の更新を行い、利便性の向上に努めていく。 地域公共交通計画に基づいた改善等を行っていく。
旭タクシー株式会社 旭市デマンド交通	干潟・旭北地区	市関係団体への出前講座の実施や市役所関係部署と連携し、周知を行った。 引き続き総合公共交通マップを発行し、市内各戸、各公共施設に配布、市HPで周知を行った。			
アステル交通株式会社 旭市デマンド交通	海上・飯岡地区	また、定期的に乗降対象施設の更新を行った。			

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)
 運行ルートの見直しや、公共交通マップの配布、出前講座の実施等の取組は評価できるが、利用者数、収支率の目標は未達成となった。利用登録者数の増加や収支率の改善傾向が見られることから、引き続き高齢者団体への周知等利用促進の取組を進めていただきたい。
 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考として頂きたい。
 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。
 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名： 山武市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
ちばフラワーバス(株)	山武市基幹バス 系統:さんぶの森元気館 ～蓮沼海浜公園 (往路33.8km 復路33.8km) 平日7便 土日祝日6便	前回第三者評価の反映状況	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	目標① 公共交通網の満足度を45.0%以上に向上させる。 【満足度】 44.3%	改善検討①
房総自動車(有)	山武市乗合タクシー (成東、山武、蓮沼・松尾)	①「地域」「事業者」「行政」の三者で役割分担を行い、地域が主体的に関与する仕組みを構築していただきたい。 →現在策定を進めている公共交通計画において、素案へ地域共創の仕組みづくりに関する項目を追加した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	目標② 基幹バスの1日当たり利用者数を134人以上に増加させる。 【利用者数】 129.1人/日	【基幹バス】 ・新たな利用者を確保するため、利用者ニーズの把握に努め、運行計画に反映させる。
両総観光(株)	山武市乗合タクシー (成東、山武、蓮沼・松尾)	②アフターコロナを見据え、利用促進に関するイベント等を再開できるよう行政からもバックアップしていただきたい。 →令和4年11月に予定していた市のイベント(産業まつり)内における公共交通PRに関しては昨年同様中止となった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	目標③ 乗合タクシーの1日当たり利用者数を131人以上に増加させる。 【利用者数】 90.3人/日	【乗合タクシー】 ・市内を3地域に分けそれぞれの地域内を運行しているが、利用者ニーズを反映した地域外運行の拡充を検討する。 ・運行効率の向上を図るため、デマンドシステムの変更を検討する。
(有)松尾タクシー	山武市乗合タクシー (成東、山武、蓮沼・松尾)		A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	【目標未達成の要因】 公共交通全体が新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にある。しかし、乗合タクシーに関しては利便性向上策を多数実施したものの、事業の持続可能性確保のために実施した運賃の値上げ等により、目標値を大きく下回る結果となった。	改善検討② 令和5年度に策定する地域公共交通計画に基づいた改善等を令和6年度より順次実施していくため、準備・検討を進める。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	公共交通を維持していくために計画を策定し、様々な施策を検討した取組は評価できるが、満足度、利用者数の目標は未達成となった。策定される地域公共交通計画に基づき、これまでの検討項目を踏まえて公共交通の確保維持に務めていただきたい。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。
-------------------------	--

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月29日

協議会名: 香取市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
千葉交通株式会社	香取市循環バス(小見川ルート) ●系統:小見川駅~高萩~小見川駅(30.8km) 運行回数:4回/日 ●系統:小見川駅~小見川高校~小見川駅(5.1km) 運行回数:4回/日 ●系統:工業団地~小見川駅(23.2km) 運行回数:1回/日 ●系統運賃: 大人300円、中学生100円、小学生以下無料 障害者手帳所持者(大人)100円 障害者手帳所持者(中学生)無料	地域(住民・利用者)からのお問い合わせが多い内容をまとめた公共交通ガイドマップ2023年3月版を作成し、利用促進を図った。 沿線の高校と連携し、高校の教室内に循環バス時刻表を掲載するなど利用者によりわかりやすい環境整備を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標①:利用者数12,550人 実績①:利用者数14,580人 分析①:通学者の利用増加が要因である。 目標②:収支率14.6%以上 実績②:収支率15.5% 分析②:通学者利用増加により収入が増加した。なお、高校生は100円のため、利用者数の増加に比べ収支率は大きく改善していない。	より多くの通学利用者の獲得のため、スマホ定期の導入などを検討し、利用者数の増加及び収支率の改善を目指す。
京成タクシー成田株式会社	小見川乗合タクシー 営業区域: 小見川中央小学校・小見川東小学校の通学区域地区(利根川以北を除く) 運行日:月曜~金曜 運行時間帯:第1便8時~第9便16時 運賃:大人600円、中学生300円、小学生以下無料 障害者手帳保持者300円 障害者介助者300円	主要な発着地である「香取おみがわ医療センター」と連携し、乗合タクシー専用乗降場所の確保、看板の設置を行い、利用促進と利用者にとって分かりやすい環境整備を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標①:利用者数6,500人 実績①:利用者数6,923人 分析①:制度周知を重視した結果、一定程度の効果が表れたと考えられる。 目標②:収支率16.6%以上 実績②:収支率19.0% 分析②:利用者数の増加及び令和3年の運賃改定による収入増の効果がでている。	便当たり平均乗合人数が2人未満であるため、運行便数の最適化等を引き続き検討する。
千葉交通株式会社	香取市循環バス(横断ルート) ●系統:小見川駅~山田支所~ミリの駅くりもと駅(30.27km) 運行回数:8回/日 ●系統運賃: 大人300円、中学生100円、小学生以下無料 障害者手帳所持者(大人)100円 障害者手帳所持者(中学生)無料	日常の買い物等の利用を促進するため、香取市社会福祉協議会等と連携し、地域の高齢者の代表者向けに「循環バス乗り方教室」を開催し、実際の利用イメージを持ってもらう機会をつくった。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標①:利用者数2,900人 実績①:利用者数3,361人 分析①:通学時間帯以外の日常利用も微増している。 目標②:収支率5.6%以上 実績②:収支率5.6% 分析②:通学や買い物など定期的な利用者の獲得により収支のより改善を目指す。	通学や買い物など、定期的な利用者の獲得のため、地域や事業者と連携した取り組みを検討していく。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	公共交通マップの作成や、医療施設との連携及びバスの乗り方教室の開催に取り組みられ、利用者数や収支率の目標を達成されたことを評価する。利用者の増加傾向は見られることから、地域と連携して利用機会を創出し、更なる利用者増加へつなげていただきたい。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。				

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 6年 1月29日

協議会名: 市原市地域公共交通会議
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
小湊鉄道㈱	①鶴舞バスターミナル～湯原～里見駅(10km) 運行回数:2.5回/日 運賃:390円 ②鶴舞バスターミナル～久保～里見駅(12km) 運行回数:2.5回/日 運賃:390円 ③鶴舞バスターミナル～高滝駅～里見駅(18km) 運行回数0.5回/日 運賃:390円	関係者と協議のもと加茂学園の児童生徒の通学に対応したダイヤ及びルートにより運行を行うとともに、運行内容の見直しを行った際には学校と連携して周知を図っている。また、市ホームページで高速バスや小湊鐵道線との接続について周知し利用促進を図った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A 加茂学園の児童生徒の通学手段の確保に寄与した。 コロナ流行前の直近の実績(R元年度)は、51.04人であったが、コロナ禍による影響を受けて近年の利用者数は低迷した状況が続いていた。 こうした状況を踏まえ、本計画の目標値は直近の実績値の維持とし、「1日の平均利用者24.28人」と設定。当該年度の実績は、コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限が緩和されたことや学校の休校が実施されなかったため、「1日平均利用者38.27人」であった。	本バス路線のルート及びダイヤについて、適宜関係者と協議し、運行内容の改善及び利用促進を図っていく。
小湊タクシー㈱	デマンド型交通「戸田地区」 営業区域:戸田地区 運行日:月・水・木曜 運賃:500円 デマンド型交通「養老地区」 営業区域:養老地区 運行日:火・金曜 運賃:520円	各地区が共通して地域内の各世帯にリーフレットを配布し利用促進を図るとともに、運営会議を開催し利用者ニーズの把握に努めた。戸田地区においては目的地の追加を行った。	A	B 交通空白地域である3地区において、デマンド型乗合タクシーの運行を維持することにより、高齢化社会における交通弱者等の生活交通の確保を図った。 戸田地区は目標「1運行あたりの平均乗車人数 1.12人/回」に対して、「1.10人/回」であった。 養老地区は目標「1運行あたりの平均乗車人数 1.54人/回」に対して「1.14人/回」であった。 市津地区は目標「1運行あたりの平均乗車人数 1.24人/回」に対して、「1.25人/回」であった。	地域住民や交通事業者の参画のもと定期的に運営会議を開催し、運行状況や運行上の課題等を検証し、運行内容の改善及び利用促進を図っていく。	
(有)潤井戸タクシー	デマンド型交通「市津地区」 営業区域:市津地区 運行日:月～金 運賃:500円～1,500円					

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	学校と連携した周知やリーフレットの作成、目的地の追加に取り組まれ、一部の利用者数目標を達成されたことを評価する。 関係者との協議や運営会議を通して、更なる利用促進を図っていただきたい。 また、第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。
-------------------------	---

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年11月21日

協議会名: 君津市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
大新東株式会社 君津営業所	君津市デマンドタクシー予約便(小櫃・上総地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用が低迷していた定時便を廃止し、当該運行車両を「予約便」の運行車両として活用することで、利用者の利便性の向上を図った。 ・新型コロナウイルスワクチン接種会場までの交通機関の利用に係る費用を支援するなど、デマンドタクシーの利用促進を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【目標】 利用者数:20,000人 収支率:25.0% 【実績】 利用者数:11,711人 収支率:6.9% ※新型コロナウイルスワクチン接種支援利用券を通常の運賃収入として換算した場合の収支率は10.6% 【分析】 ・昨年度と比べ利用者数は約1,100人増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響等により減少していた利用者は復調傾向にある。 ・公共交通の安全性を周知し、新型コロナウイルスワクチン接種支援利用券の交付により利用促進を図ったが、目標には届かなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシを作成し、自治会に回覧するなど、デマンドタクシーの利用促進を図る。 ・利用者ニーズや運行状況を把握し、運行効率の向上に努める。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	利便性向上や利用機会の創出に努めている取組は評価できるが、利用者数及び収支率の目標は未達成となった。利用者は復調傾向にあり、引き続き運行効率の向上や利用促進を図り利用者数の増加につなげていただきたい。第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。
-------------------------	--

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月25日

協議会名: 印西市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
ちばレインボーバス株式会社	コミュニティバス(ふれあいバス) 印旛・本埜支所ルート 系統: 印旛支所～竜腹寺～本埜支所～印西牧の原駅～本埜支所～竜腹寺～印旛支所(31.8km) 運行回数: 7便/日 運賃: 大人(中学生以上)100円 ※小学生・乳幼児・障害者手帳保持者及び介助者1人まで無料	前回の事業評価では、目標値である1便当たりの平均利用者数13人/日が達成されなかった。目標利用者数を下回った要因としては、令和元年度のルート延伸に伴う減便、新型コロナウイルス感染症の影響等が考えられる。今後、様々な利用促進策を検討、実施し、利用者の確保を図る。印旛・本埜支所ルートは停留所であり市の交通結節点でもある「印旛支所」において、バス待合用のベンチを設置し利便性の向上を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 目標: 一便あたりの平均利用者数13人 令和3年3月に策定した印西市地域公共交通計画に記載されている目標値「13.0人/便」をもとに設定した。 結果: 一便あたりの平均利用者数9.2人 分析: 1日当たり利用者数については、前年度と比較すると8.3人/1便から9.2人/1便と、約10%の増加となっているものの、新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年度の10.4人と比較すると、10%の減少となっているものの、交通不便地域の荒野、竜腹寺地区の利用者は、前年比で46%増となっている。令和元年10月に新設した停留所「本埜支所」の利用状況を見ると、利用者数が30%増となっており、周辺地域の利用が喚起されていると考えられる。	・目標利用者数を下回った要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響等が考えられる。様々な利用促進策を検討、実施し、利用者の確保を図る必要がある。 ・特に交通不便地域の荒野、竜腹寺地区や、本埜支所からの利用者(東ルート、六合路線との相互乗換利用者)を増加させ、少しでも路線の採算性を上げ、持続可能な路線となるよう、努める必要がある。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	交通結節点にバス待合用のベンチを設置し、利便性向上に取り組んだ点を評価するが、平均利用者数の目標は未達成となった。引き続き利便性向上や利用促進の取組を行うことを期待する。 また、第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。
-------------------------	---

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月31日

協議会名: 東金市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
東金タクシー有限公司 南総タクシー株式会社 小川タクシー有限公司 仲田タクシー有限公司	デマンド交通(東金市乗合タクシー)市内全域	○利用キャンセルをしない常習者に適宜電話にて口頭注意を実施した。 ○利用者が希望する時間に予約が取れなくても、別の時間帯を提案することで、利用に繋げる取組みを実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 【目標数値】 1日当たり利用者数 45人(前回目標 45人) 【結果】 1日当たりの利用者数 33.23人(前回実績33.07人)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりデマンド交通自体の需要が一時的に低下している。需要が回復した際に効率的な運行が可能になるよう予約キャンセル常習者への口頭注意等を随時実施し、予約不成立件数の削減に努めていく。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	計画に基づき適切に継続的な運行を実施している点を評価する。 効率的な運行のみならず、利便性向上や利用促進の取組を行うことを期待する。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。				

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月31日

協議会名: 勝浦市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鉄道株式会社	デマンドタクシー (上野地区、大沢地区、浜行川地区、興津地区の一部、小松野地区、大楠地区及び松部・串浜地区の一部)	<p>○市広報誌にデマンドタクシーのご案内記事を掲載し、周知及び利用促進を図った。</p> <p>○運行事業者にアルコール消毒液を配布し、車両や運転手の消毒や換気を徹底するなど感染症対策を実施し利用者の安全・安心を確保した。</p> <p>○デマンドタクシーの利用者に対してアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めた。</p>	A 事業は計画どおり適切に実施された	<p>【目標】 利用者数 4,395人 (1日当たり 15人/日)</p> <p>【実績】 利用者数 4,213人 (1日当たり 14.4/日)</p> <p>【目標不達成要因】 新型コロナウイルス感染症が感染拡大と縮小を繰り返すなかで、年度前半においては、外出控えなどにより公共交通全体の利用が減少したものと考えられる。</p>	<p>○市広報誌にデマンドタクシーのご案内記事を掲載し、周知及び利用促進を図る。</p> <p>○地域公共交通計画に基づき、デマンドタクシーの運行サービスの見直しを検討するとともに利便性向上を図る。</p> <p>○感染症の状況に応じ、車両や運転手の消毒や換気を徹底するなど感染症対策を実施し利用者の安全・安心を確保する。</p>

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>市広報誌にデマンドタクシーの案内記事を掲載し、周知及び利用促進を図るなどの取組は評価できるが、デマンドタクシー利用者数の目標は未達成となった。引き続き利便性向上や利用促進の取組を行うことを期待する。</p> <p>また、第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。
-------------------------	---

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月5日

協議会名: 大網白里市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
千葉中央バス(株)	増穂地区コミュニティバス 系統:中部コミュニティセンター ~中部コミュニティセンター (24.3km) 運行回数:8回/日 運賃:200円	事業者と自治体との間で対話しながら、路線の再編やダイヤ、運行方法見直しの議論を行い、周辺環境や行動特性の変化などに対応していただきたいとの助言を受けたため、各路線とも今後の運行計画等について、事業者と協議を行った。増穂地区コミュニティバスについては、市民要望のあった新規ルート及びバス停の追加について走行の可否等を含め協議を行ったが、道路事情や運行計画変更に伴うダイヤへの影響を鑑み、運行計画の変更を断念した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 【目標】 1便平均 8.0人 1日平均 64人 年間 23,360人 【実績】 1便平均 8.6人 1日平均 69.1人 年間 25,244人 分析:ICカードによる運賃支払いや回数券の導入など、利便性向上の取組を実施したことや、市広報紙やHPにより継続的に周知活動を続けてきたことが、少しずつ利用者の増加に繋がっていると考え。	・運賃収入以外の収入を確保するため、引き続きバス車両への有料広告掲載を行っていく。 ・回数乗車券をPRし、利用促進を図る。 ・アンケートや市民要望等から市民ニーズの把握に努め、引き続き運行計画の最適化を図っていく。
秋葉タクシー(有)	白里地区コミュニティバス 系統:白里公民館~大網白里市役所(23.4km) 運行回数:5回/日 運賃:500円(白里地区内及び大網市街地内での移動は250円)	白里地区コミュニティバスについては、地区内にあったスーパーの閉店による地区内住民への買物支援の必要性を考慮し、隣接地区にあるスーパーにバス停留所を設置するため、運行事業者やスーパーと協議を行い、令和6年4月を目標に運行計画の変更を進めている。	A 事業が計画に位置付けられたとおり適切に実施された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成出来なかった。 【目標】 1便平均 3人 1日平均 15人 年間 3,660人 【実績】 1便平均 2.1人 1日平均 10.5人 年間 2,584人 分析:令和5年2月に実施した利用者アンケートでは、新規利用者が増えているとの結果であったが、頻りに利用されていた方の転出や入院などが重なり、利用者数が伸び悩んでいることが要因と考え。	・運賃収入以外の収入を確保するため、引き続きバス車両への有料広告掲載を行っていく。 ・回数乗車券をPRし、利用促進を図る。 ・アンケートや市民要望等から市民ニーズの把握に努め、引き続き運行計画の最適化を図っていく。 ・白里地区住民の買物を支援するため、隣接地区にあるスーパーへの停留所設置を進める。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	地区内住民への買物支援の必要性を考慮し、運行事業者やスーパーと協議を行い、バス停留所の設置を検討する等の取組は評価できるが、白里地区コミュニティバスの利用者数目標は未達成となった。引き続き検討結果を踏まえた利便性向上や利用促進の取組を行うことを期待する。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。				

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月29日

協議会名: 長南町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
ゆたか自動車(株)	長南町全域でドア・ツー・ドア方式	前年度の評価結果を踏まえ、事業を実施している。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された	B 計画年4,598回の運行に対し、3,919回運行し、延べ4,128人の交通手段の確保が出来た。	令和4年度に策定した長南町地域公共交通計画に基づき、他の交通モード体系を総合的に判断する中で、廃止となった巡回バスの代替交通手段となるデマンド乗合タクシーの利便性向上を図る。
(有)長南タクシー	長南町全域でドア・ツー・ドア方式	前年度の評価結果を踏まえ、事業を実施している。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された	A 計画年4,598回の運行に対し、5,269回運行し、延べ5,878人の交通手段の確保が出来た。	令和4年度に策定した長南町地域公共交通計画に基づき、他の交通モード体系を総合的に判断する中で、廃止となった巡回バスの代替交通手段となるデマンド乗合タクシーの利便性向上を図る。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	前年度に引き続き、利用方法に関して簡潔にまとめた案内プレートを利用登録者へ作成・送付、ペア割引の実施など公共交通の利用促進に取り組み、利用者数の目標を達成されたことを評価できるが、運行回数に関しては未達成となった。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。				

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月31日

協議会名: 御宿町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鉄道株式会社	町内全域をカバーする乗合運行(デマンド型)を地域内フィーダー系統確保維持事業として、平成26年10月1日から実施。ルートを定めず、運行エリア内を乗合で移動するもので、事前予約型・町内全域乗合タクシーとして運行している。	乗合運行(デマンド型)について、利用を促進するため、広報で事業の周知を行った。	A (事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された)	B (事業が計画に位置づけられた目標が概ね達成できた) ※目標利用者5,385人に対し実績5,531人(+146人) ※目標収入1,615,500円に対し実績1,596,000円(▲19,500円)	・引き続き利用状況の統計を蓄積して不満やニーズを探り、利用満足度の高いサービスを実施していく。 ・リピーターが多いため、ライフサイクルが合致する方にとっては満足していただけていると思う。しかし、登録している方のうちよく利用する方は少なく、移動を困難と感じている方はもっと潜在すると思われるため、制度周知を重ねて実施していくことに加え、移動先別の移動モデルの提示を行うなどのアプローチを検討していく。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	利用促進のため、広報における乗合運行に関する事業周知の取組により利用者数の目標を達成できたことは評価できるが、収入に関する目標は未達成となった。引き続き利用促進の取組を進めていただきたい。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。
-------------------------	---

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

協議会名：横芝光町地域公共交通会議

令和5年12月22日

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回の事業評価結果、反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名：有限会社横芝タクシー 運行系統名：横芝光町デマンドタクシー	横芝光町 デマンド(乗合)タクシー (町内全域)	【前回の評価結果】 満足度の目標を達成した点は評価できるが、利用者数の目標は未達成となった。前年度よりも利用者数は増加していることから、より一層の地域の実情に即した交通サービスの提供を進めていただきたい。 【反映状況】 令和4年3月策定の地域公共交通計画により令和4年12月から大きな再編を行い、循環バスについては、利用者数が少なかった北側ルートを廃止し、デマンド交通(乗合タクシー)の北側専用車両を1台増車した。南側ルートは、通勤・通学の鉄道への乗継を考慮したダイヤにするとともに、交通系ICカードの利用を開始し、また利用者数が少なかった一部ルートを廃止することで効率化を図った町内バスとして、町内2ルート各14便で運行を開始した。	●計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。 ・利用者からの意見や利用状況を踏まえ、必要に応じ改善を図り、来年度以降も継続する。	【利便性の高い地域公共交通ネットワークの維持に関する目標】 目標である乗合タクシー利用率は令和5年度(令和4年10月～令和5年9月)において、6.2%で目標を達成している。年間利用者数については、16,686人であり、現状値から比較し増加しているが、目標値は達成していない状況である。利用者の乗合タクシーに対する不満の割合は、総合計画策定時のアンケート等調査により値を算出していることから、現状値を把握することができていないため評価しない。乗合タクシーの予約不成立数は、2,807件となり目標を達成していない。 【安心・安全に移動できる交通環境の提供に関する目標】 バリアフリー車両の導入数を現状値0台から4台へすることが目標値であるが、現状0台であり、目標値を達成していない。 【将来に渡って持続可能な公共交通サービスの提供に関する目標】 乗合タクシーの収支率を現状値9.7%から12.0%へすることが目標値であるが、R5年度(令和4年10月～令和5年9月)は11.7%となり増加はしているが、目標値は達成していない。	令和4年3月策定の地域公共交通計画に基づき、令和4年12月から大きな再編を行ったが、より多くの利用者が希望の時間に乗車できるよう見直しを検討していくことが必要である。また、予約不成立の背景には、特定の利用者が仮予約をしまわっていることや、運行ルートが噛み合わず利用できないケースが考えられるため、予約キャンセルが多い利用者への対応や、運行ルートを配車ごとに構築することによる乗合率の増加を図っていくことが必要である。また、利用者数の増加を目指し収支率の改善を図っていく。
事業者名：房総自動車有限会社 運行系統名：横芝光町デマンドタクシー			●計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。 ・利用者からの意見や利用状況を踏まえ、必要に応じ改善を図り、来年度以降も継続する。	B	
事業者名：両総観光株式会社 運行系統名：横芝光町デマンドタクシー			●計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。 ・利用者からの意見や利用状況を踏まえ、必要に応じ改善を図り、来年度以降も継続する。		
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	公共交通計画に基づいた路線の再編及び、交通系ICカード導入による利便性向上により利用率の目標を達成した点は評価するが、利用者数および収支率の目標は未達成となった。 引き続き利便性向上や利用促進の取組を行うことを期待する。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。				

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月24日

協議会名: 鴨川市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
日東交通株式会社	1. 北ルート 金山ダム～鴨川駅西口～鯛の浦～内浦山県民の森 2. 北ルート 金山ダム～鴨川市役所～鴨川駅西口 3. 南ルート 曾呂終点～畑青年館～鴨川駅西口～浦の脇～鴨川駅前 4. 南ルート 曾呂終点～畑青年館～鴨川駅西口 5. 南ルート 浦の脇～鴨川駅前 6. 清澄ルート 奥清澄～清澄寺～天津小湊支所	計画に定めた目標の達成を目指し、コミュニティバス各ルートのパンフレットの作成・配布、モビリティ・マネジメントの実施及び小学生を対象とした「公共交通乗り方教室」の開催等、各種利用促進策に取り組んだ。また、利用者ニーズに即したサービスとするため、運行事業者から停留所・便ごとの利用状況の把握・分析に努め、地域公共交通計画に基づき、令和6年4月を目途としたコミュニティバス再編の具体化を図った。	A 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 利用目標 22,035人/年に対し、実績では26,903人/年で目標を達成した。実績の内訳は、以下のとおり。 1. 北ルート 実績 12,765人/年 (対前年比 108.4%) 2. 北ルート 実績 783人/年 (対前年比 91.0%) 3. 南ルート 実績 8,095人/年 (対前年比 100.7%) 4. 南ルート 実績 2,145人/年 (対前年比 112.4%) 5. 南ルート 実績 487人/年 (対前年比 124.6%) 6. 清澄ルート 実績 2,628人/年 (対前年比 101.6%)	本市にとって有効かつ持続可能な公共交通網に再編するため、コミュニティバスについては、令和6年4月から、鴨川地域の運行区間を再編し循環線に、江見地域及び天津小湊地域では区域型乗合タクシーの実証運行を実施することとした。 再編後の運行内容について、利用者等への周知に努めるとともに、利用促進を図るため地域公共交通計画に定める各種事業に取り組んでいく。また、利用状況の把握・分析に努め、必要に応じて適切な運行内容を検討する。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	モビリティ・マネジメントの実施および「公共交通乗り方教室」の開催等、各種利用促進策に取り組まれ、利用者数の目標を達成されたことを評価する。引き続き、再編後の運行内容周知等、利用促進に取り組んでいただきたい。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。
-------------------------	--

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和5年12月27日

協議会名： 八街市地域公共交通協議会

評価対象事業名： 地域内リーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
千葉交通株式会社	コミュニティバス「ふれあいバス」 系統： 市街地循環コース（13.9km） 北コース（30.9km） ※系統kmはコースにおける最小値 運行回数： 12回／日（市街地） 9回／日（北） 運賃：200円 ※令和5年3月末を持って、ちばフラワーバス（株）とちばグリーンバス（株）に事業承継。			指標①ふれあいバス年間利用者数を86,000人 実績：90,132人 前年度年間利用者数80,853人と比較し9,279人の増加であり、目標値を達成することができた。新型コロナウイルスの影響がある程度収束したことが一因と推測される。	
ちばグリーンバス株式会社	コミュニティバス「ふれあいバス」 系統： 北コース（30.9km） ※系統kmはコースにおける最小値 運行回数： 8回／日（北・朝B便除く） 運賃：200円 ※千葉交通（株）が令和5年3月末を持って、撤退し、ちばグリーンバス（株）に事業承継された。	事業者と自治体の対話については、各社の状況を踏まえ、情報共有をし、事業承継も、利用者に大きい影響がないように移行することができた。 また、利用促進については、新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、市ホームページや市広報紙を活用し、市内福祉団体が実施した夏祭りなどのイベントでバスの利用の呼びかけの実施を再開し、利用者の増加につながり、目標値を達成することができた。	A 計画通り事業は適切に実施された	指標②公共交通に係る市の年間財政負担額を52,201千円 実績：52,085千円 指標の財政負担額を116千円下回り、目的を達成することができた。 指標①と同じく、新型コロナウイルスの影響がある程度収束したことによる、利用者の増加が目標達成の一因と推測される。	年間利用者数は、令和3年10月に実施したふれあいバスの運行ルートの再編及び運行ダイヤの見直しが定着し、また、新型コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、目標値を達成し、年間利用者数の増加に繋がった。 今後は、新型コロナウイルス感染症で自粛していた各種イベントへのバスの利用周知を再開し、さらなる利用者の増加を図りたい。 また、令和5年10月2日より八街市デマンド型乗合タクシー実証運行事業を開始したことに伴う、各公共交通機関の影響について、事業者と自治体間で連携し、乗降調査やアンケート調査等を実施し、利用状況の分析と正確なニーズを把握し、ふれあいバスの利用促進を図りたい。
ちばフラワーバス株式会社	コミュニティバス「ふれあいバス」 系統： 市街地循環コース（13.9km） 北コース朝便②のみ（7.2km） 西コース（40.9km） 南コース（32.3km） ※系統kmはコースにおける最小値 運行回数： 12回／日（市街地） 1回／日（北・朝B便のみ） 8回／日（西） 9回／日（南） 運賃：200円 ※南コースについては、補助対象外であるが、包括的な目標設定をしているため、ふれあいバス全体としての評価を記載しています。 ※千葉交通（株）が令和5年3月末を持って撤退したことから、系統路線の市街地循環コースと北コース朝便について事業承継された。			なお、令和4年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、運行継続が困難となった民間バス路線である「八街循環線」へ4,000千円の補助を実施した。	
地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	広報誌の活用や夏祭りなどのイベントによる利用促進に取り組み、年間利用者数および年間財政負担額の目標を達成されたことを評価する。 引き続き、利用促進に取り組んでいただきたい。 第三者評価委員会での有識者からの助言（下記）を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。				

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月25日

協議会名: 富津市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
NPO法人わだち	竹岡地区交通空白地有償運送	昨年度の達成状況を継続できるよう、安定的な運行を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 計画に位置付けられた目標を達成することができた。 (利用者数の目標値700人に対し実績823人となり、1運行あたりの利用者数は2.96人であった。また、昨年度と比べ利用者数、1運行あたりの利用者数、共に増えていることから、A評価とした。)	今後も利用者動向に注視しつつ、事業者とともに必要な見直しを検討する。 また、地域の医療・商業施設と連携し、より利便性の高い運行方法を検討する。

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	利用者向けアンケート調査の結果を基に実施したダイヤ改正後の運行維持に取り組まれ、利用者数の目標を達成されたことを評価する。 引き続き、利用促進に取り組んでいただきたい。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。
---------------------------------	--

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月19日

協議会名: 木更津市地域公共交通活性化協議会
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
富来田地区まちづくり協議会	ふくちゃんバス (区域運行:富来田地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進を進めるため、区内各区へ回覧を行ったり、利用者による地域住民への口コミ等により、利用登録者を19名増やすことができた。 ・路線の再編やダイヤ、運行方法の見直しの議論を行い、周辺環境や行動特性の変化などに対応していただきたいとの評価結果を受け、地域公共交通活性化協議会内で協議を行い、運行可能な目的地の変更を行った。 (利用回数が少なくなった「アピタ木更津」から、地域住民の要望が多くあった「ほたる野眼科」に変更。) ・アフターコロナ、ウィズコロナを見据え、利用促進に関するイベント等の実施をできるようサポートしていただきたいとの評価結果を受け、地区社会福祉協議会主催のコミュニティカフェが新規に実施されることに合わせ、参加者の送迎のための臨時運行を行った。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】 ①利用者について、 ・延べ7人/日 ・延べ60人/月 ②令和4年度実績(36.2%)と比較して、収支率1%改善。 【実績】 ①利用者について、 【令和5年度】 ・延べ 5.8人/日 ・延べ53.7人/月 【令和4年度】 ・延べ 5.1人/日 ・延べ44.7人/月 ②収支率 50.0% ➡13.8%増 【分析】 ・地域住民の要望の多い目的地を反映したこと、および、コミュニティカフェの送迎のための臨時運行を行ったことで、利用者のニーズに応えることができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性及び収益の向上を図るために、引き続き、利用者の需要の変化に合わせて目的地の見直しを行う必要がある。 ・収支率の改善のため今後も乗合運行の実施に努め、効率化を図る必要がある。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	利用者による地域住民への口コミによる周知や、ニーズに合わせた目的地変更による利便性の向上の取組により収支率の目標を達成できたことは評価できるが、利用者数の目標は未達成となった。引き続き、地域での周知活動を行うなど公共交通の利用促進を進めていただきたい。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。
-------------------------	---

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月30日

協議会名: 匠瑤市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
有限会社ササモト	デマンド型交通「チューリップ号」 区域: 北部エリア 系統: 国道126号以北の匠瑤市内 計画運行回数: 12回/日 運賃: 500円	令和5年4月1日から運行を開始した。 匠瑤市総合公共交通マップを発行し、市内各戸、各公共施設に配布、市ホームページや広報紙で周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 【目標】 収支率: 21.6% 平均利用者数: 13人/日 運行回数: 1,788回 【実績】 収支率: 7.7% 平均利用者数: 5人/日 運行回数: 646回 【分析】 運行を開始した2、3カ月は利用者が少なかったが、その後は増加し、上記の平均利用者数となった。 一般タクシーの利用助成事業も行っているため、登録をしてもすぐに使う人が少なかった。	引き続き総合公共交通マップを配布し、周知を図る。 新しい商業施設等の乗降ポイントの新規登録と利用案内更新を迅速に行い、利用者の利便性の向上を図る。
千葉交通株式会社	匠瑤市市内循環バス 系統: 豊栄・匠瑤循環1便 計画運行回数: 1回/日 運賃: 200円(割引運賃: 100円) ※車両減価償却費補助活用(ワンボックス1両)	再編を行い、令和5年4月1日から運行を開始した。 匠瑤市総合公共交通マップを発行し、市内各戸、各公共施設に配布、市ホームページや広報紙で周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 収支率: 8.9% 平均利用者数: 25人/日 運行回数: 894回 【実績】 収支率: 3.6% 平均利用者数: 14人/日 運行回数: 894回 【分析】 再編後の運行を開始したばかりで利用者が定着していないため。	引き続き総合公共交通マップを配布し、再編後の時刻表や路線図の周知を図る。
千葉交通株式会社	匠瑤市市内循環バス 系統: 豊栄・匠瑤循環2便 計画運行回数: 1回/日 運賃: 200円(割引運賃: 100円) ※車両減価償却費補助活用(ワンボックス1両)	再編を行い、令和5年4月1日から運行を開始した。 匠瑤市総合公共交通マップを発行し、市内各戸、各公共施設に配布、市ホームページや広報紙で周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 収支率: 8.9% 平均利用者数: 25人/日 運行回数: 894回 【実績】 収支率: 3.6% 平均利用者数: 14人/日 運行回数: 894回 【分析】 再編後の運行を開始したばかりで利用者が定着していないため。	引き続き総合公共交通マップを配布し、再編後の時刻表や路線図の周知を図る。
千葉交通株式会社	匠瑤市市内循環バス 系統: 豊栄・匠瑤循環3便・5便 計画運行回数: 各便1回/日 運賃: 200円(割引運賃: 100円) ※車両減価償却費補助活用(ワンボックス1両)	再編を行い、令和5年4月1日から運行を開始した。 匠瑤市総合公共交通マップを発行し、市内各戸、各公共施設に配布、市ホームページや広報紙で周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 収支率: 8.9% 平均利用者数: 25人/日 運行回数: 894回 【実績】 収支率: 3.6% 平均利用者数: 14人/日 運行回数: 894回 【分析】 再編後の運行を開始したばかりで利用者が定着していないため。	引き続き総合公共交通マップを配布し、再編後の時刻表や路線図の周知を図る。
千葉交通株式会社	匠瑤市市内循環バス 系統: 豊栄・匠瑤循環4便 計画運行回数: 1回/日 運賃: 200円(割引運賃: 100円) ※車両減価償却費補助活用(ワンボックス1両)	再編を行い、令和5年4月1日から運行を開始した。 匠瑤市総合公共交通マップを発行し、市内各戸、各公共施設に配布、市ホームページや広報紙で周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 収支率: 8.9% 平均利用者数: 25人/日 運行回数: 894回 【実績】 収支率: 3.6% 平均利用者数: 14人/日 運行回数: 894回 【分析】 再編後の運行を開始したばかりで利用者が定着していないため。	引き続き総合公共交通マップを配布し、再編後の時刻表や路線図の周知を図る。
千葉交通株式会社	匠瑤市市内循環バス 系統: 豊栄・匠瑤循環6便 計画運行回数: 1回/日 運賃: 200円(割引運賃: 100円) ※車両減価償却費補助活用(ワンボックス1両)	再編を行い、令和5年4月1日から運行を開始した。 匠瑤市総合公共交通マップを発行し、市内各戸、各公共施設に配布、市ホームページや広報紙で周知を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 収支率: 8.9% 平均利用者数: 25人/日 運行回数: 894回 【実績】 収支率: 3.6% 平均利用者数: 14人/日 運行回数: 894回 【分析】 再編後の運行を開始したばかりで利用者が定着していないため。	引き続き総合公共交通マップを配布し、再編後の時刻表や路線図の周知を図る。

千葉交通株式会社	匝瑳市市内循環バス 系統：椿海・豊和循環1便 計画運行回数：1回/日 運賃：200円(割引運賃：100円) ※車両減価償却費補助活用 (ワンボックス1両)	再編を行い、令和5年4月1日 から運行を開始した。 匝瑳市総合公共交通マップを 発行し、市内各戸、各公共施 設に配布、市ホームページや 広報紙で周知を行った。	A	事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。		
千葉交通株式会社	匝瑳市市内循環バス 系統：椿海・豊和循環2便 計画運行回数：1回/日 運賃：200円(割引運賃：100円) ※車両減価償却費補助活用 (ワンボックス1両)	再編を行い、令和5年4月1日 から運行を開始した。 匝瑳市総合公共交通マップを 発行し、市内各戸、各公共施 設に配布、市ホームページや 広報紙で周知を行った。	A	事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	B 事業が計画に位置付けら れた目標を達成できていな い点があった。 【目標】 収支率：8.0% 平均利用者数：30人/日 運行回数：894回 【実績】 収支率：5.9% 平均利用者数：31人/日 運行回数：894回 【分析】 再編後の運行を開始した ばかりで利用者が定着して いないため。	引き続き総合公共交通マップ を配布し、再編後の時刻表や 路線図の周知を図る。
千葉交通株式会社	匝瑳市市内循環バス 系統：椿海・豊和循環3便 計画運行回数：1回/日 運賃：200円(割引運賃：100円) ※車両減価償却費補助活用 (ワンボックス1両)	再編を行い、令和5年4月1日 から運行を開始した。 匝瑳市総合公共交通マップを 発行し、市内各戸、各公共施 設に配布、市ホームページや 広報紙で周知を行った。	A	事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。		
千葉交通株式会社	匝瑳市市内循環バス 系統：椿海・豊和循環4便 計画運行回数：1回/日 運賃：200円(割引運賃：100円) ※車両減価償却費補助活用 (ワンボックス1両)	再編を行い、令和5年4月1日 から運行を開始した。 匝瑳市総合公共交通マップを 発行し、市内各戸、各公共施 設に配布、市ホームページや 広報紙で周知を行った。	A	事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。		
千葉交通株式会社	匝瑳市市内循環バス 系統：椿海・豊和循環5便 計画運行回数：1回/日 運賃：200円(割引運賃：100円) ※車両減価償却費補助活用 (ワンボックス1両)	再編を行い、令和5年4月1日 から運行を開始した。 匝瑳市総合公共交通マップを 発行し、市内各戸、各公共施 設に配布、市ホームページや 広報紙で周知を行った。	A	事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	B 事業が計画に位置付けら れた目標を達成できていな い点があった。 【目標】 収支率：8.0% 平均利用者数：30人/日 運行回数：894回 【実績】 収支率：5.9% 平均利用者数：31人/日 運行回数：894回 【分析】 再編後の運行を開始した ばかりで利用者が定着して いないため。	引き続き総合公共交通マップ を配布し、再編後の時刻表や 路線図の周知を図る。
千葉交通株式会社	匝瑳市市内循環バス 系統：椿海・豊和循環6便 計画運行回数：1回/日 運賃：200円(割引運賃：100円) ※車両減価償却費補助活用 (ワンボックス1両)	再編を行い、令和5年4月1日 から運行を開始した。 匝瑳市総合公共交通マップを 発行し、市内各戸、各公共施 設に配布、市ホームページや 広報紙で周知を行った。	A	事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。		
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	路線の再編による利便性の向上や、公共交通マップを発行し、広報誌での周知の実施などの取組は評価できるが、利用者数および収支率の目標は未達成となつた。引き続き利便性向上や利用促進の取組を行うことを期待する。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。					

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 6 年 1 月 30 日

協議会名: 南房総・館山地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
日東交通株式会社	館山市街地循環バス 系統:循環 運行回数:6回/日 運賃:現金200円・ キャッシュレス決済160 円	初回のためなし。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に運行された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標:令和5年度の1日当り乗車人数 35人/日、年間収支率8%以上 実績:32.1人/日、9.66% 分析:過去最高を上回る圧倒的な暑さにより外出控えや運賃の値上げ(100円→200円)等が利用者減少の原因と考えられるが、目標数値に近い乗車実績を挙げられた。運賃値上げにより、収支率も向上した。	<ul style="list-style-type: none"> EVバス導入による新規顧客開拓を目指す。 EVバス導入にあわせクレジットカードタッチ決済を導入し、支払方法の門戸を広げ利用機会増加を目指す。 利用者増加に向けた定期的かつ広範囲の広報活を実施する。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	<p>キャッシュレス決済の周知等、利用促進に取り組まれ、利用者数および収支率の目標を達成されたことを評価する。 引き続き、利用促進に取り組んでいただきたい。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。 				

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 6年 1月30日

協議会名: 富里市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
京成タクシー成田株式会社	富里市デマンド交通キャロリン号 (市内全域及び一部市外) 365日運行	-	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標】 利用者数:10,453人以上 【実績】 利用者数:29,532人 【分析】 アンケート調査による市民ニーズの高い施設への乗入れを実現したことにより、見込みを大きく上回る利用があった。	利用者ニーズや運行状況を踏まえ、乗合率の向上など、効率的な運行に努める。

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	アンケート調査による市民ニーズの高い施設への乗入れに取り組まれ、利用者数の目標を達成されたことを評価する。 引き続き、利用促進に取り組んでいただきたい。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 ・定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。
---------------------------------	--